

1 本校教育目標

『 夢を抱き、信頼し、笑顔あふれる学校 ～ 一歩前へ ～ 』

[重点目標及び学習面の実践事項]

- (1) 節度ある生活態度と中学生としての品性を身につけさせる。
- (2) 基礎・基本の学力の定着と確かな学力の向上を図る。
 - ① 基礎学力の定着
 - ② 小中連携 9か年を見通した学力向上
 - ③ 生徒指導の充実
 - ④ キャリア教育の推進

2 本校の実態

- (1) 学校評価では「確かな学力」が身につけてきているが、「家庭学習の努力」にはまだ課題がある。
- (2) 「分かりやすい授業」「まじめな授業への取組」は、ほぼ達成している。今年度は、国のリーディング DX スクール研究指定を受けており、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

3 校内研修主題と学力向上プラン

(1) 校内研修主題

「 確かな学力を身につけ、主体的に学び合う生徒の育成 」
～ クロームブックとクラウド環境の効果的な活用を通して ～

(2) 共通実践

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業改善
- ② 全教員によるICT活用研究授業
- ③ 年3回の公開授業と授業研究会の実施
- ④ デジタル教科書及びAI型ドリルの効果的な活用
- ⑤ クロームブックの持ち帰りによる家庭学習の充実と授業との連携
- ⑥ 別室、不登校生徒等に対する学習支援（リモート授業・体制構築）
- ⑦ 朝学習で、AI型ドリルとタイピングの実施

(3) 学校重点目標

- ① クロームブックの持ち帰りとAIドリルの活用で家庭学習の時間を無くす。
- ② ICT を活用したわかりやすい授業を通し、学力向上を目指す。

(4) 学力向上プラン

学力向上①

ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（西泊中授業モデル）

- 本時で達成されるべき目標を明らかにする（学習指導要領に沿って）
- すべての生徒が達成すべき最低到達基準（評価基準B）を定める
- ICT 活用場面の設定と、教材の準備
- クロームブックを活用した形成的評価1（レディネス把握のための小テスト）で本時の学習に必要なレディネスを把握
- めあてを提示する（生徒が「学びたい」と思う魅力あるめあてに！できれば生徒の言葉で）
- 本時の内容の教授・学習・練習・作業等
- チームで協働しながら問題を解決させる学習を仕組む
- クロームブックを活用した形成的評価2（生徒の理解度・定着度を把握するための小テスト）を実施し生徒の到達度を把握するとともに、生徒には結果のフィードバックを与える。
- 生徒の達成状況に応じた課題を与える
- 本時のまとめを行う（目標、めあてとの整合性！）

学力向上②

クロームブックの持ち帰りによる家庭学習の充実と授業との連携

- AI 型ドリルの課題配信
- 土日、長期休業中に1日1時間AI型ドリルへの取組
- 生徒会（学習部）との連携（呼びかけ、チェック、優秀者の表彰）
- 予習・復習、反転学習等でのクロームブックの活用

教師の指導力向上

- 「あじさいスタンダード」及び「ゆめあこ」の活用
- T T の充実
- 小学校との連携
- 校内研修の充実

4 全国、県学力、市学習状況調査等の分析による今後の課題と改善策

	全国平均に比べ正答率が低かった問題	改善策
国語	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる等、思考力・判断力・表現力を求める問題。	・授業の中で、自分の考えを深めたり広げたりするための書く活動を実践する。 ・日頃から教科書の音読をしたり、積極的に読書をしたりすることで、読解力を身に付ける。 ・自分の考えを具体的に表現するための語彙力を身に付ける。
数学	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる問題や同位角または錯角が等しいことを根拠として、2つの直線が平行であることを証明することができるかどうかを見る問題。	・証明に必要な定理、条件などの定着を図るため問題集やキュービナを活用し復習を徹底する。 ・根拠を明確にして自分の考えを表現する能力の向上をめざす。 ・ペア学習やグループ学習を通して、教え合い活動の充実を図る。
英語	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題や日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題。	・自分の意見を伝えるため、根拠となる内容を書かせるなど、まとまりのある文章を書くことができる活動の回数を増やす。 ・生徒の興味・関心を引き出すテーマを設定し、さまざまに思考、それを整理し筋道を立てて書く活動の充実を図る。